

～～8392回～～

姫街道・パートⅢ

～H30. 3. 17～

肌寒い早朝の中を前回までに歩いてきた三ヶ日宿本陣跡前をスタートする。今回はこの三ヶ日宿から本坂峠を越え、嵩山宿を経て御油宿追分まで約23kmで終了となる。元三ヶ日高校跡を左折し、華嚴寺の山門前を過ぎ坂道を上ると本坂一里塚碑があり、かたわらに馬頭観音が奉納されていた。集落に入ると、高札場跡、秋葉常夜燈が保存され、街道の雰囲気を感じ本坂峠へ向かう。石畳を進み「鏡石」の脇を通り、樹齢およそ200年を超えるツバキの原生林に入る。所どころ花が落ちていて残念だったが、程なく姫街道と豊橋自然歩道が重なる本坂峠(328m)に着く。休憩後、嵩山宿を目指して下る。石畳道、嵩山の七曲りを下り、茶屋場跡、座禅石、嵩山の一里塚跡を通過し昼食とする。362号に合流し西に向かう。長楽の集落に入ると竹林に道標と長楽一里塚碑があり和田の辻へと進む。田園風景の豊川の堤防の道に出る。当古橋を渡り当古の渡し場であった西船渡、東本郷の集落を過ぎると姫街道は寸断され今はない。再び362号を西に進み三谷原神社を過ぎた所に寿命院、ここに日本橋から75里の三橋一里塚。151号交差点を直進し、交通量の多い国道5号線の街道歩きとなる。午後になり気温は上がり、当時の史跡などは殆どなく、あと7kmは単調で大変な時間帯であった。愛知県に入ると静岡県側に比べると道標も少なく不安になったが大きな文字で書かれた「姫街道踏切」看板を見て安心する。ひたすら歩き豊川稲荷、本宮山遥拝所を通過し、1811年建立の常夜燈、諏訪一里塚跡を過ぎ船山古墳前で国道1号線を直進する。交差点先に終点御油宿の東海道と姫街道の追分に着く。右に常夜燈、左に姫街道道標。帰りは東海道を国府駅まで歩く。磐田見付から御油宿まで60km余りを三回に分け歩き、歴史を感じた史蹟巡りを楽しみ、無事に完歩し終わることができた。

読み仮名追加：嵩山(すせ)御油(ごゆ)長楽(ながら)長楽寺(ちょうらくじ)国府(こう)

参加者：16名(静岡西12、島田4)

天候：曇りのち晴れ

地図：三ヶ日・豊橋

コースタイム：本陣跡 735…本坂一里塚 825…本坂峠 935…昼食 1025-50…長楽一里塚 1125…当古の渡し 1200…中央通り公園 1320…追分 1450…国府駅 1520

記録：静岡西支部 M・M



本坂峠